

AP アドミッション・ポリシー

●求める学生像（求める能力・適性等）

グローバル・ディプロマプログラムは、グローバル化が大きく進展する現代の経済社会にあって、①経済学・経営学の基礎理論や幅広い教養を身につけ、さらに豊かな国際感覚を磨くことを通じて、人類が直面している種々の問題に積極的に取り組んでいこうという気概をもった学生（経済・経営学科）、②最先端の内容を含む経済理論、数量、情報科学の方法を活用して分析を進め、これらの結果を評価し、社会、経済における政策や戦略に応用、実践できる力を身につけようとする学生（経済工学科）で、さらに自らの母語以外の言語でそうした知識や能力を表現し、グローバルな舞台で活躍しようとするチャレンジ精神をもった学生を求めている。

そのために**経済・経営学科**の場合、高校では、基礎的科目としての国語・数学・外国語の諸科目をしっかりと勉強するだけでなく、地歴・公民の諸科目をできるだけ満遍なく学習することが重要となる。また理科の諸科目も経済発展と密接不可分の科学・技術を理解するために学習することが求められる。

また**経済工学科**の場合、経済学の勉学の土台となる国語力、社会に関する一般的基礎知識、数学（微積分、確率・統計、行列などは大学で経済学を学ぶ際、特に重要だが、受験のためには所定の数学を満遍なく学習する必要がある）をはじめとする数理的知識、また、現代社会に対する多様な関心、好奇心を持つ学生の受け入れを重視する。

また九州大学入学後も、基幹教育の「文系ディシプリン」「理系ディシプリン」など各分野の導入科目を学びながら、英語をはじめとする外国語に関心を持ち、外国語での開講科目を受講することが重要となる。

●入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、選抜基準等）

経済グローバルDP（定員10名）に参加申請できるのは、九州大学経済学部の経済・経営学科または経済工学科が実施してきた従来の入学者選抜（一般入試、私費外国人入試、帰国子女入試、国費留学生入試）に合格し、九州大学の基幹教育の1年次課程を終える予定の学生である。その際、

- ①1年次基幹教育の成績(GP)
- ②英語(TOEFL/IELTS)のスコア
- ③志望理由書（自己の将来計画等）
- ④口頭試問結果

を勘案して、プログラム参加者を選抜する。

選抜に際しては、グローバルに活躍しようとするチャレンジ精神、外国語(留学生は日本語)の能力、基幹教育で学んだ教養科目(含専門基礎科目)の理解力、を特に重視する。